

1月

病院長より地域の皆様へ
～新年のご挨拶と今年の抱負～

富山労災病院長 **かどや 角谷** **なおたか 直孝**



令和6年の年頭に当たり、地域の皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

足掛け4年にわたるコロナ禍もようやく収束の兆しが見え、皆様穏やかなお正月を過ごされたことと思います。

昨年は、富山ろうさい病院においてもようやくコロナ禍前の通常の診療体制に復帰できた一年でした。コロナ禍の収束に伴い、6月よりコロナ専用病棟を閉鎖し、回復期の病棟である従来の地域包括ケア病棟を復活しました。

一方、新川地域における人口減少と高齢化の進行は著しく、当初の予測よりも早く人口減少は進み、特に後期高齢者人口は、富山市では2030年をピークに減少に転ずるといわれていますが、魚津市では富山市よりも5年早く、2025年をピークに減少局面に入ると予測されています。また、65歳以上の高齢者人口は、魚津市においては2020年をピークにすでに減少局面に入ったとも言われています。

このような状況の下、富山ろうさい病院ではこれまで通り、がん診療や骨折、脳卒中、肺炎といった急性期医療（治す医療）を強化、維持しつつ、“断らない病院”として24時間救急患者さんの受入を継続して参ります。さらには、地域包括ケア病棟を活用することにより、急性期の治療が終了した方の在宅復帰へのお手伝いや、高齢者のQOLの維持を目的とした治療（支える医療）を提供していくことで、地域の皆様にとって“面倒見の良い病院”を目指して参ります。ただし、急性期医療と救急体制を維持するためには医師確保が最大の課題であり、これについては関係大学と協力し、引き続き医師確保のため最大限の努力を続けていく所存です。また、当院が“面倒見の良い病院”として市民の皆様には認知されるには、高齢者の自立・自律を支援するためのシステム作りが不可欠となっていることから、今年はこれらの目標を達成するためにも、医師会や行政との連携を強化し、地域包括ケアシステムの体制作りをこれまで以上に進めて参ります。

これからも富山ろうさい病院は地域に密着した、“面倒見の良い病院”として安全・安心で良質な医療が提供できるよう、地域の皆様のご理解、ご協力のもと、職員一同なお一層努力して参ります。本年も引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2024年1月1日～1月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 高齢の方に多い水頭症について」

(出演者) 脳神経外科医師 木南 紫巨



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>